

迎春

旧年中に賜りました格別のご厚情を

深く感謝いたします

皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに

会員各位のご発展をご祈念申し上げます

一般社団法人 京都府トラック協会

会長
副会長

〃 〃 〃

平島 竜二
蔭田 良夫
宮本 昌季
藤木 哲也
村尾 直則
役員一同

きょうとらっく

Kyotruck

迎春
1
2026

TOPICS

- 新年ごあいさつ (2P)
- Gマーク近畿運輸局長表彰 表彰式 (8P)
- 経営改善広報・DX委員会 (9P)



一般社団法人
京都府トラック協会

表紙 新年のごあいさつ

CONTENTS

1 CONTENTS / 交通事故情報 / 事業用トラックの届出状況 / 軽油価格調査

新年のごあいさつ

- 2 (一社)京都府トラック協会
- 3 (公社)全日本トラック協会
- 5 京都府トラック事業協同組合連合会
- 6 近畿交通共済協同組合
- 7 近畿運輸局 京都運輸支局

ご報告

- 8 Gマーク 近畿運輸局長表彰 表彰式
ベストプラクティス企業訪問
- 9 経営改善広報・DX委員会
- 10 自動点呼+関連機器検討展示会
新規採用職員の紹介
- 11 ボリス&カレッジinKYOTO2025
「CHA-Leaders AWARD Kyoto 2025」～一次審査会～
「CHA-Leaders AWARD Kyoto 2025」～活動発表会～
第15回自転車交通安全CMコンテスト表彰式
- 12 年末の事故防止府民運動スタート式
京交安「年末の交通事故防止府民運動広報啓発活動」
過積載防止啓発/トラック物流Gメン実態調査活動
- 13 交通マナーを高める事故防止コンクール表彰式 入賞事業者一覧
- 15 安全通学支援事業に係る贈呈式
交通安全フェアin南山城
京都市西総合支援学校における交通安全教室
- 16 京都府・京都国道事務所による要請対応
- 17 10～12月の主な活動

お知らせ等

- 19 適正化事業情報
- 20 トラック関連法令Q&A
健康サポートコーナー
- 21 危険予知訓練コーナー
- 22 京ト協 行事予定

裏表紙 スペーストラッカー
LINE・X(旧Twitter)公式アカウントのお知らせ

京ト協ホームページ
会員専用パスワード 1月中
0403

「全ト協会員専用 12/15～1/14 8275
ホームページパスワード」 R8/1/15～2/14 7992



府内の交通事故情報等

京都府内の交通事故情報

事業用トラックの交通事故

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年同期	増減数
件数(件)	9	11	9	13	2	7	8	8	12	7	12		98	124	-26
死者(人)	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0		3	4	-1
負傷者(人)	15	11	10	16	3	7	9	13	14	11	25		134	142	-8

府内の交通事故

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年同期	増減数
件数(件)	335	311	323	269	268	280	282	288	301	270	305		3232	3383	-151
死者(人)	3	4	4	4	4	6	6	4	3	1	3		42	47	-5
負傷者(人)	374	341	356	306	303	317	314	323	354	305	373		3666	3826	-160

(※京都府警察監修)

京都府内の事業用トラックの届出状況(令和7年11月)

新規許可 件数(件)	廃止届出 件数(件)	増減車届出件 数(件)	増車(両)					減車(両)				
			小型	普通	牽引	被牽引	霊柩車	小型	普通	牽引	被牽引	霊柩車
3	0	350	22	230	10	11	1	24	218	7	4	2
合計:274							合計:255					

(※京都運輸支局資料より抜粋)

軽油価格調査 単純集計表(令和7年11月)

(円/1ℓ)

近畿	スタンド平均		ローリー平均		カード平均	
	123.38		108.56		119.39	
全国(沖縄除)	スタンド平均		ローリー平均		カード平均	
	121.43		109.85		122.07	

(※(公社)全日本トラック協会資料より抜粋)



2026年(令和8年) 新年ごあいさつ

一般社団法人京都府トラック協会

会長 平島 竜二

新年明けましておめでとございませう。
令和8年(2026年)の新春を迎え、謹んで
ご挨拶申し上げます。

会員事業者をはじめ関係各位の皆様には、平
素より格別のご高配を賜りますこと厚く御礼申
上げます。

私ども京都府トラック協会は、国民の生活と
産業活動を支える重要な社会インフラの担い手
として、事故防止や環境対策への取り組み、経済
活動が滞ることの無い様エッセンシャルワーカー
として日夜懸命に活動しております。

一方、与野党合意による各暫定税率の廃止が
されるものの、不安定な世界情勢に端を発する
燃料費の高止まり、人件費だけで無く、原材料や
車両価格の高騰などにより、トラック運送業界
の経営は圧迫され厳しい経営状況が続いており
ます。また私どもの業界は恒常的な労働力不足
の状況にあるため、『労働環境の改善』『ドライバー
の賃金見直し』を、解決すべき重要課題と位置づ
け人材確保に取り組んでいるところであります。

昨年4月の荷主・物流事業者に対する規制措

置が盛り込まれた『改正物流効率化法』施行、5
月の『下請法』改正、6月のトラックドライバー
の経済的・社会的地位の向上を目的とした『改正
貨物自動車運送事業法』及びそれを担保する『貨
物自動車運送事業の適正化のための体制の整備
等の推進に関する法律』が成立されました。

『許可の更新制導入』『運賃料金の制限』『委託
次數の制限』等への対応に向け、私どもトラック
運送業界は、安定した輸送サービスの維持を図
るためにも、適正運賃・料金の収受に向け荷主と
の運賃価格交渉を積極的に取り組んでまいりま
す。

昨年認定率が40%となりましたGマーク(安
全性優良)事業所は、未認定事業所に比べ法令遵
守の意識も高く、事故発生率も低いことから、企
業として信頼を得ており、人材確保や新規契約
獲得の有効なツールとも考えられることから、更
なる数値目標を設定、認定率日本一の協会を目
指すべく、新たな助成事業含め取り組んでまい
りますので、既に認定された事業所はもとより、
会員の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

また国土交通省の『トラック・物流Gメン』、適

正化事業実施機関の『Gメン調査員』は、適正な
取引を阻害する荷主等の行為を是正するため、
それぞれ個別具体の申告や相談に適切に対応さ
れますので、積極的な情報提供をお願いします。

京都府トラック運送事業政治連盟は、京都選
出の国会議員の方々に業界が抱える諸課題に理
解を求め対策を講じていただくため、説明や要
望活動を行っており、今後も引き続き取り組む
こととしております。

最後に、会員各位の一層のご支援、ご協力を
お願い申し上げます。皆様方のご健康と本
年が幸多い年となります様祈念申し上げ、年頭
のご挨拶とさせていただきます。





2026年(令和8年) 新年ごあいさつ

公益社団法人全日本トラック協会

会長 寺岡洋一

令和8年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月、前任の坂本克己最高顧問の後任として全日本トラック協会の会長に就任しました。昨年は私個人にとっても、そしてトラック運送業界にとっても激動の年だったといえるでしょう。

まず、昨年4月には「改正物流法」(新物流効率化法、改正貨物自動車運送事業法)が施行され、5月には「取適法」(製造委託等に係る中小受託事業者に対する支払の遅延等の防止に関する法律)が成立し、今年1月1日から施行されました。そして、6月には「トラック適正化二法」(改正貨物自動車運送事業法、貨物自動車運送事業の適正化のための体制の整備等の推進に関する法律)が成立しました。また11月の与野党合意により、今年4月1日に軽油引取税の暫定税率が廃止されることになりました。軽油引取税の暫定税率廃止に伴い、運輸事業振興助成交付金の維持に向け、超党派による議員立法で先の臨時国会に「運輸事業振興助成法改正案」(運輸事業の振興の助成に関する法律の一部を改正する法律案)が提出されました。令和13年3月31日までの5年間、現行の交付金制度が維持される内容となっています。

トラック適正化二法の成立や運輸事業振興助成法改正案の国会提出に至ったのは、国会議員の先生方や国土交通省をはじめとした関係省庁及び労働組合のご理解はもとより、業界の皆様が一致団結して必死に汗を流してきた結果だと考えております。改めて、業界の皆様方のご尽力に心より御礼申し上げますとともに、運輸事業振興助成法改正案の早期成立に向け、引き続き関係の皆様

様のご理解・ご協力お願いいたします。

トラック適正化二法では、改正貨物自動車運送事業法のなかで、①トラック運送事業の許可について5年ごとの更新制の導入、②国土交通大臣が定める「適正原価」を下回る運賃・料金の制限、③再委託の回数を2回以内に制限するよう努力義務化、④違法な白ナンバートラックの利用を禁止し(罰則付)、荷主等に対しては是正指導も実施——などを盛り込んでいます。

また、この事業法を担保するための「貨物自動車運送事業の適正化のための体制の整備等の推進に関する法律」(新法)は、①基本方針の策定、②法制上の措置等、③物流政策推進会議——を柱としています。トラック適正化二法で示された内容が実現した暁には、業界を取り巻く景色が一変するのではないかと感じています。

全ト協では、私が委員長を務める、本件に特化した「トラック適正化二法対策委員会」を新たに立ち上げ、昨年8月27日に第1回委員会を開催しました。第1回委員会では、委員会設立の意義と経緯について説明した上で、「改正事業法の全面施行まで3年。業界の健全な発展に向けて、本日お集まりの皆様が一致団結して、全面施行に向けて精一杯取り組んでいきたい」と決意を述べました。

今年4月には、「委託次数の制限」と「違法な白トに係る荷主等の取り締まり」が施行され、続く第2段階は、公布後3年以内に施行とされており、令和10年春頃になると思われますが、ここから「許可更新制度」と「適正原価の遵守義務」が施行することになります。

全ト協では今後も、国土交通省と強く連携しながら、トラック適正化二法の全面施行に向けて準備を進めてまい

ます。

燃料価格をはじめとする輸送コスト上昇分や、ドライバーの労働条件改善を進めるための原資については、荷主に対して適切に運賃・料金として転嫁していくことが基本であり、トラック運送事業者が適正な運賃・料金を収受できる環境を整備することが重要であると考えます。そうした中で高騰する輸送コストや人件費等の上昇分を荷主に転嫁できていない運送事業者が少なくありません。荷主からコスト上昇分を運賃・料金として適正に収受できなければ、運送事業者の多くが持続可能な事業経営を行うことができなくなります。一方で、車両価格について、アルミや半導体等原材料料金の高騰、あるいは安全や環境性能向上のための装備が増えることなどによって価格が高騰しており、全ト協として車両価格の高騰問題についてもしっかりと対応してまいります。

さらに昨年9月、軽油価格カルテルの疑いで公正取引委員会により石油販売会社に対し、犯則調査が行われました。大変遺憾なことであり、全ト協としては、徹底的な事実解明と厳正な対処を求めるとともに、公取委の動向を注視し適宜対応を図ってまいります。

現在、国土交通省では、トラック適正化二法で規定された適正原価の算定に向けた準備が進められております。適正原価という指標を国に示していただくことは大変ありがたいことであり、法的根拠のある適正原価が導入されることで、荷主が運送事業者に対して不当な運賃で輸送を依頼することへの大きな抑止力になることが期待されます。

一方、適正原価の算定にあたっては、現在、国土交通省において、全事業者を対象に実態調査を実施しており、本調査では全国のトラック運送事業者から原価構造等のデータを提供いただく必要があります。会員事業者の皆様には必ず回答をお願いいたします。

併せて、全ト協では、適正原価の実効性を高めるとともに、運送事業者が適正な運賃・料金を収受できる環境の整備を進めるために、国土交通省をはじめとした関係省庁と連携し、独占禁止法や取適法における取締りや指導の強化、令和6年11月に体制が強化されたトラック・物流のメンによる情報収集や荷主等による悪質な行為に対する是正指導の強化等を通じて、輸送コスト上昇分やドライバーの待遇改善に向けた原資を確保できるように努めます。

引環境の整備に向け、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

昨年4月に施行された改正物流法では、荷主や物流事業者等に対し、トラックドライバーの荷待ち時間等の短縮、積載率の向上等に資する取り組みを行う努力義務を課しているほか、元請事業者に対し、実運送事業者の名称等を記載した実運送管理体制管理簿の作成を義務付けるとともに、荷主およびトラック運送事業者等に対し、運送契約締結時の書面交付等を義務付けています。

さらに、本年4月から、一定規模以上の荷主に対して、物流統括管理者(CLO)の選任、中長期的な計画の作成や取り組み状況の報告等が義務付けられます。取り組みの実施状況が不十分な場合は、勧告・命令が実施されることとなります。

これらにより、物流業界の多重下請構造を是正し、実運送事業者の適正な運賃収受を図っていくこととなります。

全ト協では、改正物流法を解説する会員事業者向けホームページを開設したほか、実務者向けに法改正の内容を分かりやすく解説する動画を公開するなど、会員事業者の理解促進に取り組んでいます。

また、運送契約の範囲や運賃・料金の明確化を図るため、運送契約締結時に、運送サービス(附帯業務等も含む)の内容やその対価等について記載した書面の交付が運送事業者と荷主の双方に義務付けられたことを受けて、全ト協では会員事業者が荷主との運送契約を円滑に、かつ効率的に締結できるよう、「運送申込書面化アプリ」を開発し、デジタル化対応が進んでいない中小運送事業者に無償で提供しています。

併せて、全ト協では国交省と連名でリーフレットを作成し、事業者や荷主に向けた広報活動を展開するなど、業界全体で発信力を高め、改正物流法の周知徹底に努めたいと考えています。

トラック運送業界は、「安全で安心な輸送サービスを提供し続けること」が社会的使命であり、常に「安全」を最優先課題と位置付けながら事業を展開しなければなりません。

しかしながら、事業用トラックが第1当事者となる死亡事故件数は令和6年よりも減少しているものの、依然として多い状況にあります。また、根絶すべき事業用ト

ラックによる飲酒事故も依然として発生しているほか、大型車による車輪脱落事故も発生しています。

国交省では、令和7年度までを計画期間とする「事業用自動車総合安全プラン2025」に代わる次期総合安全プランの策定に向けた準備を進めています。全ト協では、次期総合安全プランを受けて策定する次期「トラック事業における総合安全プラン」に基づき、事業用トラックが関係する交通事故による死傷者数等の目標達成を図ります。会員事業者の皆様におかれましては、今一度基本に立ち返り、緑ナンバーの自信と誇りをもって安全運行の徹底に努め、安全・安心な輸送の確保をお願い致します。

気候変動をもたらす地球温暖化防止のため、全ト協では2050年のカーボンニュートラルを目指し、「トラック運送業界の環境ビジョン2030」を定めています。本ビジョンのメイン目標として、トラック運送業界全体の2030年のCO₂排出原単位を2005年度比で31%削減することを掲げ、環境対応車導入促進助成事業や「トラックの森づくり事業」などの取り組みを引き続き推進してまいります。また、「黄金のペットボトル」など社会問題化するゴミのポイ捨て問題についても、業界全体の意識の向上を図るため、会員事業者の皆様のご協力をお願いいたします。

トラック運送事業者が「国民生活と経済のライフライン」としての機能を果たし続けていくためには、利用者目線での計画的な道路整備の推進が必要です。

道路を使用するドライバーの労働環境改善の観点から、暫定2車線区間の4車線化やミッシングリンクの解消、渋滞対策の推進、高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)などにおける駐車スペースの整備・拡充など、多くのトラック運送事業者の輸送効率化に繋がる道路整備の推進が求められます。また、トラック輸送は国民生活と産業活動を支える公共的物流サービスの担い手であることから、運送事業者にとって利用しやすい高速道路料金水準が求められます。

全ト協では全国道路利用者会議と連携して、我が国の生産性を向上させ、成長力および国際競争力を強化するため高規格道路のミッシングリンクの解消や暫定2車線区間の4車線化、重要物流道路の整備推進など幹線ネットワークの強化を国交省等に働きかけていきます。

また、高速道路料金について、利用に応じた料金制度としつつ、運送事業者向け割引の継続を強く求めています。さらに、ドライバーの働き方改革や生産性向上、カーボンニュートラル推進を図るため、利用者目線での渋滞対策の実施、道の駅などの休憩施設の機能強化、中継物流拠点の整備および交通結節機能の強化などを求めています。

SA・PA、道の駅における駐車スペースや休憩・休息施設は、労働関係法令の遵守およびドライバーの労働環境改善のためにはなくてはならない必要な施設であることから、全ト協では、SA・PA、道の駅における大型車および特大車用の駐車スペースや休憩・休息施設となる建屋内設備の整備・拡充、特にシャワー施設の設置箇所拡大について、引き続き国交省等に対して要望活動を行っていきます。

我々トラック運送事業者の願いは、エッセンシャルワーカーとして物流の現場で日々奮闘しているドライバーに、夢や希望、誇りを胸に、「我々が日本のくらしと経済を支えている」との熱い思いをもちながら、日々仕事をしてみようことに他なりません。

多くの運送事業者が荷主等に対して果敢に運賃・料金を交渉を行い、適正運賃・料金を収受することで、ドライバーの地位向上と労働条件の改善が図られるとともに、それが安定的な物流の確保に繋がり、国民経済の健全な発展に寄与するのです。

スピード感をもちながら重点的に解決していかなければならない課題は、地域によって温度差があり様々です。私は、「業界内の風通しを良くしていくこと」も非常に重要であると考えています。会員事業者の皆様方から、様々な課題を全ト協に対し積極的にご提供いただくとともに、全ト協としては、そちらお声に真摯に耳を傾け、「会員ファースト、業界ファースト」で業界の健全な発展に資する諸施策を強力に推し進め、個々の事業者の持続的な成長に繋げていきたいと考えております。

会員事業者の皆様方のますますのご発展とご健勝、ならびにご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



2026年(令和8年) 新年ごあいさつ

京都府トラック事業協同組合連合会

会長 杉本 哲也

2026年(令和8年)の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員および所属員の皆さまをはじめ関係各位には、かねてより京ト協連の事業運営に対し、格別のご理解とご協力を賜り、暑くお礼を申し上げます。

さて、昨年6月に貨物自動車運送事業法が改正され、5年ごとの許可更新制度の導入や再委託回数制限、適正原価を下回る運賃の禁止、白ナンバー業者に対する委託禁止強化——などが盛り込まれました。5年ごとの許可更新制や適正原価を下回る運賃の禁止は、トラック運送業界を大きく変えるものと期待しています。

また、軽油引取税の暫定税率が今年4月1日で廃止されることが決定しており、人件費や車両価格など経費負担で経営が圧迫されている中、コスト負担減につながるものとして非常に喜ばしい一面、暫定税率廃止に伴う不当な運賃引き下げ要請が懸念されることから、京都府トラック協会など関係団体と連携し不当な運賃引き下げ防止に向け働き掛けていきたいと考えています。

一方、高速道路通行料金深夜割引の新制度については実施時期が明確になっておらず、会員

の皆さんにはご迷惑をお掛けしておりますが、情報が入り次第素早く提供していきたいと思えます。

京ト協連の体制ですが、昨年5月の通常総会で2期目の統投が決まりました。多喜端、鷹野の両副会長と共に今後も「会員に役立つ連合会」をモットーに運営していきます。長年の懸案事項でありました収支も会員の皆さんのおかげで改善し、経営体質の強化に向け新たな一歩を歩み始めました。今後、会員増強や人材あつ旋事業のラインアップをさらに拡充し、経営基盤を磐石なものにしていきたいと思えます。

さらに10月からは京都府トラック協会前専務理事の井尻憲司氏を招き、事務局体制を強化しています。行政機関とのパイプや知識を存分に活用し、組織の活性化や発展につなげていきたいと思えます。

京ト協連では現在、①教育情報②調査研究③人材あつ旋——などの各事業に取り組んでいます。教育情報については、京都府トラック協会が発行する広報誌「きょうとらっく」に連合会のページを設け、ホームページと合わせ日本貨物運送協同組合連合会の情報や京ト協連の取り組み、組合員紹介などを提供しています。また、調査研

究としてWebキットの利用促進に努めています。Webキットは経営資源の補完や生産性、輸送力の向上といった経営支援ツールとして役立つことから利用者は増えており、まだ利用されていない事業者におかれましては、ぜひ検討していただければ幸いです。ご不明な点や興味を持たれた場合は事務局までお気軽にお問い合わせいただければ幸いです。

働き方改革の一環として始業後の点呼に加え、始業前点呼の自動化も認められました。管理者の負担軽減や点呼業務の大幅な効率化が期待できます。Aー点呼システムにつきましてもお気軽にお問い合わせいただきたく思います。

以上、いくつか方針を申し上げましたが、社会や業界を取り巻く環境が大きく変化する中、柔軟かつ迅速な対応が求められています。しかし、中小企業一社では限界があるため、協同の力で経営課題の解決に取り組んで対応することが肝要と考えています。そのため、会員各社を協同の力で結ぶための存在としての京ト協連を目指し、会員の皆さまのご期待に応えられるよう、情報提供や支援体制の充実に努めてまいります。

最後になりましたが、皆々様のますますのご健勝とご繁栄を祈念申し上げ、私の新年のごあいさつとさせていただきます。



2026年(令和8年) 新年ごあいさつ

近畿交通共済協同組合

理事長 岡田 博

令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様には健やかに新春を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。また、旧年中は本組合の運営につきまして格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

現在のトラック運送業界を取り巻く環境は依然として大きな転換期の中にあります。円安の影響による資材価格の高騰、少子高齢化によるドライバー不足の慢性化、働き方改革に対応するための時間外労働管理の見直し、さらには物流DXの推進など、従来の延長線では対応しきれない課題が次々と顕在化しています。そして、適正運賃収受のための荷主との交渉は、我々トラック運送業界が抱える最も難しい問題の一つだと思います。その解決には、我々が個々に戦うだけでなく、トラック運送業界が団結して立ち向かっていくことが必要で、また商習慣の見直しや荷主・消費者の行動変容等、社会全体としての意識改革も合わせて必要と思慮いたします。昨年6月に参議院で可決されたトラック新法が諸々の問題の解決につながることを切に願います。

保険業界では、某大手損保が昨年2度の保険料の引き上げを行い、また今年1月にも、再度引き上げを行いました。複数回にわたり保険料の

改定を行うのは、物価の上昇や修理費・部品代の高騰、事故件数の高止まり等がその理由とのことです。他の大手損保も保険料の引き上げを行っている中、同じように厳しい状況のため昨年10月に一部掛金の引き上げを行った近畿共済が、今後どのような形で対抗していくかは、損保業界の動きを見極めながら慎重に対応していくことが必要です。

近畿共済の令和7年度の中間決算は3380万円余りの利益を計上することができました。昨年度、一昨年度と2期連続で赤字決算でしたが、組合員の皆様のご支援により、現在、搭乗者、対物、車両共済の契約台数が過去最高となっています。このように営業成績が好調なことが黒字化の要因と考えていますが、一方、事故の方につきましては、対物事故が増加しており、物価高騰による修理費用の高額化と相まって、対物共済の収支が非常に厳しい状況にあります。そのため、今期の最終的な黒字化のためには、事故の削減が喫緊の課題となっており、事故は発生してから補償するだけではなく、そもそも発生させないことが第一です。引き続き、安全運転講習会や個別事業所訪問を実施し、組合員の皆様に寄り添ったきめ細かい事故防止活動に取

り組んでまいります。また、国土交通省告示の指導・監督指針12項目をパソコンやスマホで学習できるeラーニングや、運行管理者等一般講習、事故防止セミナー、交協連のQRコード等を活用し、安全管理体制の強化につなげていただきたいと思います。そのためにも、安全に優れた運送事業所の証である、Gマークの取得を強く推奨いたします。

補償業務といたしましては、近年力を入れている外部講師を招いての組合内研修により補償担当者や管理職のレベルアップを図り、社会的責任である被害者救済を行いつつ、組合員目線での適切な事故処理サービスおよび、適正妥当な共済金の支払いに努めてまいります。設立から50年を超えている近畿共済が引き続き発展していくためには、営業・補償・事故防止三位一体の改革を推し進め、トラック協会との協力関係を強固にし、組合員第一のサービスを実践していくことが必要と考えます。

激動のトラック運送業界、保険業界の中、創立からの理念である相互扶助の精神のもと、組合員の皆様の経営の一助となるべく取り組んでまいりますので、組合員の皆様に於かれましては、今後とも変わらぬ愛顧を賜りますようお願い申し上げます。年頭に当たり、執行部・事務局一同、組合員の皆様のご繁栄とご発展を祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。



2026年(令和8年) 新年ごあいさつ

近畿運輸局

京都運輸支局長 川口 宏幸

新年、あけましておめでとつございます。

令和8年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年も、京都は観光需要が活発でインバウンドや修学旅行生をはじめ、多くの観光客が訪れ、一年を通して賑わいを見せていました。

昨年は、我が国のほか158の国と地域が参加して開催されました大阪・関西万博が無事に閉幕し、日本国内及び世界の国々から多くの来場者を迎える中で、関西の魅力を変えて国内外に発信することができました。関係の皆様には、来場者の安全・円滑な輸送、市内での滞りない物流、関西一円の観光振興など、各分野において万博の円滑な運営に多大なご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

本年は、万博を契機として高まった関西への観光の機運を継続し、関西地域の潜在的な魅力を十分に発揮させて、関西への一層の誘客の促進に取り組みます。

一方で、持続可能で安全・安心な交通体系の構築、観光振興を通じた地域の活性化やオーバートラフィック対策、物流の効率化とカーボンニュートラルの実現など、交通・観光行政を取り巻く課題は多岐にわたります。当支局といたしましては、関係機関の皆様と緊密に連携し、地域に根ざした施策の推進に努めてまいります。

経済の更なる発展のためには、交通・観光産業の活性

化が必要不可欠であることから、政府による各種支援制度の活用に向けた周知徹底を含め、引き続き、公共交通・物流・自動車整備をはじめとする自動車関係産業の事業活動を支えるため、関係業界に寄り添いながら、それぞれの施策に取り組んでまいります。

自動車運送事業の維持・安全の確保

バス・タクシー・トラック等の自動車運送事業者の皆様には、厳しい経営環境の中にあっても、人の移動や物流を維持確保いただいていることに、改めて感謝と御礼を申し上げます。自動車運送事業を取り巻く環境は非常に厳しく、特に近年では担い手不足による路線バスの休止・減便が相次ぐなど、自動車運送事業を支える担い手の確保が喫緊の課題となっています。

昨年8月には京都市域地区においてタクシーの運賃改定が実施されましたが、バス・タクシー事業における運転者不足対策については、必要なコストを反映した運賃改定を適切に行い、それを原資として賃金アップやフレキシブルな働き方ができるようドライバーの待遇改善を図っていく必要があります。

国土交通省では、自動車運送事業者の人材確保の取組を後押しすることを目的として、「働きやすい職場認証制度」の取組を引き続き推進するとともに、特定技能外国人の受入れ実施に向けて、関係団体等と連携して進めております。当支局においても、昨年は自衛隊との協力

による運転体験会・就職説明会を実施しました。また、今月には業界との連携によるバス運転者の魅力発信イベントを実施するなど、引き続き関係者と連携して人材確保対策を進めてまいります。

トラック事業は、国民生活や産業競争力を支える重要な社会インフラでありますが、トラックドライバーの担い手不足などが深刻で、何も対策を講じなければ、2030年度には34%の輸送力不足が懸念されています。このため、政府において「物流革新に向けた政策パッケージ」に基づき2030年度を見据えた中長期計画を策定し、取組を進めているところです。

改正貨物自動車運送事業法では、昨年4月に運送体制を可視化させ適正な運賃収受につなげるため、元請事業者の実運送体制管理簿の作成と、荷主・トラック事業者双方に契約書面の交付を義務化しましたが、昨年6月に公布されたトラック適正化二法により、これらが本年4月から貨物利用運送事業者にも適用されます。さらに、許可や届出なく有償で運送行為を行うトラック(いわゆる「白トラ」)を利用する荷主等に対して、トラック・物流Gメンによる是正指導の対象となります。引き続き、適正な取引を阻害するおそれのある荷主への監視の強化と商慣行の見直しに取り組んでまいります。

自動車運送事業の輸送の安全については、監査体制の強化等の取組を進めてまいります。特に府内の観光地における旅客自動車運送事業者、とりわけ法令遵守が問題視されているハイヤー事業者に対する街頭監査を昨年に引き続き実施し、監査において悪質な法令違反が認められた場合には、厳正に対処してまいります。

また、昨年4月に物流改正法の一部が施行されたことにより、貨物軽自動車安全管理者の選任など、貨物軽自動車運送事業に対する安全対策が強化されたことから、引き続き事業者に対する適正な指導を行ってまいります。

安全性優良事業所（Gマーク） 近畿運輸局長表彰 表彰式

日程 令和7年11月19日（水） 14時～
場所 大阪合同庁舎第4号館2階 第2共用会議室
受賞事業所

概要
 ヤマトマルチチャーター株式会社 京都支店
 ヤマトマルチチャーター株式会社 京都支店様が安全性優良事業所近畿運輸局長表彰を受与されました。

当該表彰は、安全性優良事業所（Gマーク）の認定を10年以上連続90点以上で受けた事業所が対象とされるもので、今年度は近畿運輸局管内の31事業所が表彰されました。



京都労働局 ベストプラクティス企業訪問

日程 令和7年12月2日（火） 14時～16時
場所 福田建設工業（株）
出席者 京都労働局 局長 角南 蔵 様
 京都労働局 労働基準部監督課 課長 多賀谷千尋 様
 福田建設工業（株）

代表取締役 福田 明 様
 常務取締役 福田 聡 様
 土木部 齊藤 大輔 様

代表取締役社長 絹川 雅則 様

概要

ベストプラクティス企業として、福田建設工業株式会社を京都労働局角南局長が訪問。同社はICT建設機械の導入、DXの推進に積極的に取り組まれ、ダンプロラックに特化した運行管理システムを開発し、紙ベースで分散している車両情報や各種書類をクラウドで一元管理、運行状況の見える化と運行管理に付随する業務のシームレスな連携を実現。紙ベースの日報も自社開発した日報アプリを使うことで、入力作業が削減され、事務員の月時間外労働時間を10時間削減するなど、働き方改革に取り組まれています。





事業承継対策についてセミナーの実施を検討 ～令和7年度事業の進捗状況等について審議～

経営改善広報・DX委員会

日程 令和7年12月10日(水) 13時30分～
会場 京都府トラック協会

出席 副委員長(丹後支部) 安田 敏英 氏 河嶋運送(株)
委員(朱雀支部) 山崎 正勝 氏 (有)能瀬運送
(中央支部) 富田 治人 氏 (有)関厚運送
(南支部) 鈴木 章 氏 (株)京都三運社
(伏見支部) 井口 博章 氏 (株)INGコーポレーション
(洛南支部) 新井 泰秀 氏 (有)新井商事
(城南支部) 杉山 貴富 氏 (株)山城運送
(青年部会) 土師 剛 氏 グリーン物流サービス(株)
(女性部会) 中村 三奈 氏 (株)志鷹
村尾 直則 氏 舞鶴運輸(株)

欠席 担当副会長 事務局長(丹波支部) 多喜端康弘 氏 (株)トーカイロジテック

概要

左記の事業について審議が行われた。

(1) 令和7年度事業の進捗状況

事務局から、各種事業の進捗状況報告を行った。

(2) 事業承継対策について

企業にとって避けることの出来ない課題である事業承継について、セミナーの実施、及び実施にあたっての内容の検討を行った。

(3) 運送申込・書面化アプリの周知について

アプリの周知・利用促進のため、チラシを作成し、運送契約の書面化とあわせて周知活動を行うことが承認された。

(4) SNS登録者数増加施策について

登録者数の伸び悩み現状を打破するため、広報媒体及びSNSの運用方法の見直しについて意見交換を行った。

(5) その他



自動点呼機器や最新のデジタコ等を展示



自動点呼＋関連機器展示会 & セミナー

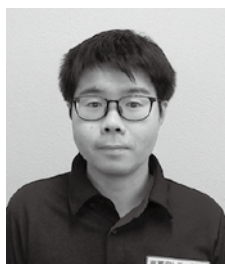
日程 令和7年12月4日(木) 10時～16時
会場 京都府トラック協会研修センター
出席者 約50名

概要

業務前・業務後自動点呼の制度化により、点呼方法が多様化(対面・電話・一丁遠隔・自動)するなか、「事故防止」「働き方改革」に繋がる最新機器の紹介、機器導入により物流DX化への一助となることを目的に開催。

展示ブースでは、来場者が出展各社の担当者

京都府トラック協会 新規採用職員のご紹介



かわむら ゆうと
河村 優杜 さん

業務部業務課員
(12月1日付)

はじめまして、河村優杜と申します。
 前職は職業訓練校で事務職として働いておりました。
 トラックに関する業務についてはまだまだ未熟な部分も多いですが、会員事業者の皆様のお役に立てるよう精一杯努めて参ります。よろしくお願いいたします。



れ、セミナーブースでは、自社のシステムの特徴や導入方法など、導入事例も交えた解説が行われ、盛会裡に終わることができました。

ポリス&カレッジin KYOTO2025

日程 令和7年12月6日(土) 10時～
会場 京都府警察学校
出席者 富田委員(交通安全・適正化事業委員)

概要

本年度の大学ゼミ対抗プロジェクトは、8大学から過去最多の17チームが参加し、「効果的な交通安全情報の発信」をテーマに、研究をもとにアイデアが発表されました。

最優秀賞：福知山公立大学 杉岡ゼミ②

「伊根にあったらしいねを」交通マップ編」

優秀賞：福知山公立大学 杉岡ゼミ①

「Pikuchiyana Award of bicycle」違反ばいばい」(by BIKED)」

特別賞：京都産業大学 岡本ゼミ

「学んで伝える交通安全」交通安全スタンプラリー」



「CHA-Leaders AWARD Kyoto 2025」一次審査会

日程 令和7年11月19日(水) 13時～15時15分
会場 京都府警察本部 2階交通部会議室
出席者 中村委員(交通安全・適正化事業委員会・事務局)

概要

高校生を対象とした自転車の安全利用及び自転車ヘルメット着用促進を目的とするイベントの一次審査会に出席しました。
 (応募作品81チーム303作品)
 なお、本日の一次審査を通過した作品を審査するための活動発表会が12月13日に開催されます。



「CHA-Leaders AWARD Kyoto 2025」活動発表会

日程 令和7年12月13日(土) 13時～16時30分
会場 京都府警察学校
出席者 時田副会長・事務局

概要

一次審査会で活動内容が効果的であると認められた18チーム(啓発活動部門4チーム、広報媒体制作部門9チーム、調査・研究・アイデア提案部門5チーム)の中から、各部門の最優秀賞・優秀賞を決定しました。京都府トラック協会長賞には、調査・研究・アイデア提案部門にエントリ、「トラックから見ると自転車」事故を防ぐには「と題し、直接ドライバーにインタビュを行い、トラックと自転車の交通事故が起こる原因について調べた京都産業大学付属高等学校1年の大迫穂夏さんが選ばれ、時田副会長から表彰状が贈られました。



第15回自転車交通安全 CMコンテスト表彰式

日程 令和7年12月7日(日) 10時～12時
会場 ホテル日航プリンセス京都
出席者 時田副会長・事務局

概要

自転車の交通事故防止や交通マナーの向上を広報するため、「第15回自転車交通安全CMコンテスト」が開催されました。

京都府内の中学校、高等学校、大学・専門学校から32校、172の作品が展覧され、その中から、「京都府トラック協会 特別賞」を授与いたしました。当協会は、京都府警察本部とKBS京都が共催で開催されている本コンテストに協賛しております。



京都府交通対策協議会 年末の 事故防止府民運動スタート式

日程 令和7年11月28日(金) 14時〜
会場 文化・パルク城陽
出席者 交通安全・適正化事業委員、事務局

概要

12月1日から始まる「年末の交通事故防止府民運動」期間中の交通安全意識高揚に向け、機運の醸成を図ることを目的に実施されたスタート式に参加。今年は「年の瀬を 無事故で走ろう 京の道」をスローガンに、①歩行者の安全確保と反射材の着用②夕暮れ時以降の早めのライト点灯③飲酒運転の根絶の三つを運動の重点としています。スタート式では京都府警音楽隊&カラーガード隊の演奏と演舞、佐伯幼稚園の園児による交通安全宣言も行われました。



年末の交通事故防止 府民運動広報啓発活動

日程 令和7年12月9日(火) 14時〜15時
会場 名神高速道路路上り線桂川パーキングエリア(PA)
出席者 エリア(PA)事務局

概要

年末に向け交通量が増えることから、交通事故防止や冬用タイヤの利用促進を呼び掛けるとともに、名神高速道路桂川PAにおいて交通ルールの順守および安全運転の励行など啓発グッズを配布し訴えました。



過積載運行防止啓発活動・ Gメン制度周知及び違反原因 行為に関する聴き取りを実施

日程 令和7年12月17日(水) 13時45分〜
会場 名神高速道路下り線桂川PA
出席者 京都府トラック協会

概要

交通安全・適正化事業委員会
小寺委員長、長野・青山・富田・中島・小倉委員、事務局

京都府過積載防止対策連絡会議に所属する京都府警察や行政関連機関と合同で、パンフレット・BOXティッシュ等を配布し、過積載防止についてPA利用者へ周知啓発を行いました。また、Gメン制度の周知・聴き取り活動として、トラックドライバーに対して京都運輸支局のトラック・物流Gメンと当協会のGメン調査員が、悪質な荷主による運行の実態調査を行いました。





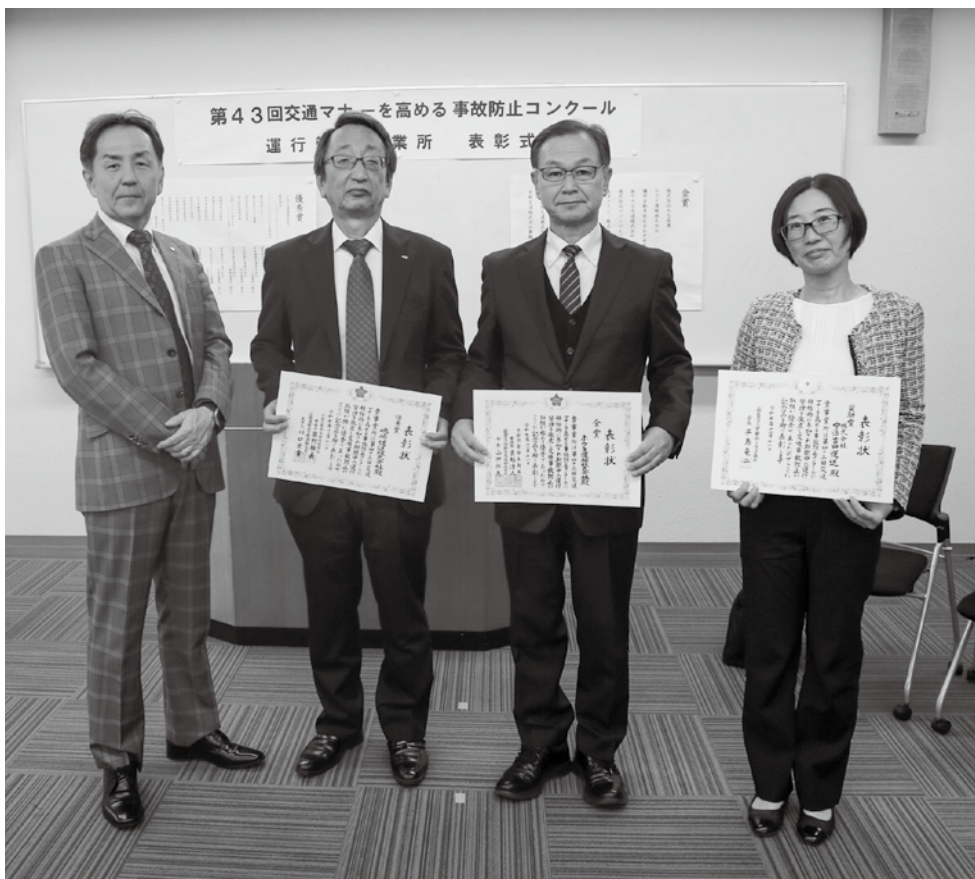
ホウキ運輸 株式会社



嶋崎運送 株式会社



株式会社 宇治吉田運送



代表受賞会員事業者 表彰状を授与 ～誠におめでとうございます～



△代表受賞会員事業者▽

- ◇金賞 ホウキ運輸 株式会社
- ◇優秀賞 嶋崎運送 株式会社
- ◇奨励賞 株式会社 宇治吉田運送

概要

日程 令和7年12月11日(木) 15時～16時
会場 京都府トラック協会

第43回交通マナーを高める 事故防止コンクール表彰式

「本コンクールは、昭和57年に道路交通の安全確保を図ることを目的にスタートし、地域社会の交通モラルの確立と交通安全の啓発に貢献してきた。入賞者におかれては、引き続き、安全運転や交通マナーの向上を心がけていただくとともに、アイドリングストップやエコドライブ、ゴミのポイ捨て禁止等にも取り組んでいただきたい」と主催者を代表し時田副会長が挨拶。金賞・優秀賞・奨励賞の表彰が行われ、京都府トラック協会からは以下の3会員が代表事業所として受賞された。

第43回交通マナーを高める事故防止コンクール入賞事業者一覧

金 賞

(株) 大志商運
ホウキ運輸 (株)

優秀賞

たちばな運輸 (株)	(有) 山本梱包
(株) INGコーポレーション	豊能運送 (株)
ティーエスロジテック (有)	嶋崎運送 (株)
(株) t u c	吉川運輸 (株)
(株) ヤワタ運輸	(有) 石田組
(株) 山本運送	山本運送 (有)
(株) 彩絆運輸	河嶋運送 (株)
近物レックス (株) コーナン京都センター	栄組運輸 (株)

奨励賞

(株) D&Jロジスティクス
(株) アクティブファーム
(有) 白石産業
オリソー物流 (株)
(株) 宇治吉田運送
(株) 義喜光
(株) プラッツ
内外運輸 (株)
(株) ジーエス物流
(株) サンユーカーゴ
(株) シスコ
京成運輸 (株)
周山運輸 (株) 本社営業所
(株) 山上運輸
(株) JLM
三重中央開発 (株)
公栄運輸 (株)
(株) 協伸
(有) 川相運送
(株) 重田実業
(有) 福田建材
(有) トラストサービス

(株) 日本ハートキャリー
盛貨運送 (株)
トナミ運輸 (株)
(有) アユミ・ロジスティクス
五条運送 (株)
(株) 栄翔運輸
(株) 大晃運送
竹之内運送 (株)
洛北レミコン (株)
栗塚運輸倉庫 (株)
渡海運送 (株)
(株) 宇佐美コーポレーション
田中プラント (株)
(株) 大光産業輸送
(有) 大橋運送
(株) 紺碧
木津運送 (株)
(株) F.CARRY
(株) cavallo trasporti
ケーエルサービス西日本 (株)
近藤梱包 (株)
佐竹運輸 (株)

宮津海陸運輸 (株)
(株) 箱伊運輸
フジモト運輸 (株)
(株) ITP事業開発
(株) Cee
京都急送 (株)
(有) 将楽産業
(株) 流通システムナカジマ
安田産業 (株)
(株) 北通
(有) 大和屋運送
(有) キッカ
荒木運送 (株)
(株) Kollab Logi Works
(有) 大久運輸
(株) 大成急送
ティービー (株)
日本インパクト (株)
(株) マルキ建設
(株) エフティプロス

令和7年度 安全通学支援 事業に係る贈呈式

日程 令和7年12月4日(木) 16時～17時
会場 男山児童センター
出席者 交通安全・適正化事業委員会
 山本副委員長
 事務局

概要

山本副委員長から、児童館前の歩道等への飛び出し防止を啓発するストップシール250枚(京都市内の全児童館分)を贈呈しました。



交通安全フェアin南山城& 南山城防災フェスタ2025

日程 令和7年12月6日(土) 12時～15時
会場 南山城村文化会館やまなみホール
出席者 交通安全・適正化事業委員会
 青山委員・小倉委員
 事務局

概要

危険予測トレーニング等の体験を通じ、高齢ドライバーに安全運転継続の意識を高めていただくことと、大地震等における防災意識向上のための標記イベントに参加し、当協会と業界のPR活動として、啓発グッズを配布しました。



京都市西総合支援学校に おける交通安全教室

日程 令和7年12月11日(木) 10時～
会場 京都市立西総合支援学校
出席者 交通安全・適正化事業委員会
 小寺委員長・山本副委員長・中村委員

概要

小学部3年生10人を対象に、歩道の歩き方、横断歩道の渡り方についての授業が行われ、西京警察署、地域交通安全ボランティアの皆様と共に授業進行に協力しました。また、交通安全啓発グッズとして文房具を寄贈しました。



京都府・京都国道事務所による要請対応

日程	令和7年11月20日(木) 10時〜
会場	京都府トラック協会
出席者	京都府 建設交通部 道路管理課 維持・防災係 山本主任 国土交通省近畿地方整備局 京都国道事務所 菅沼副所長 他4名 京都府トラック協会 森下専務・山田常務・小松

概要

京都府・京都国道事務所から、降雪積期の安全な道路交通と円滑な物流機能を維持し、トラックドライバーの生命を守るため、「冬用タイヤ・チェーン装着徹底の指導」等に係る周知の要請を受けました。

また、京都府全域の気象予測に基づく道路状況を共有するメーリングリストに、当協会も登録する運びとなりました。今後は、HPやSNSにより、さらに迅速な情報配信を行います。



大雪予想時は外出を控えて!

「大雪に関する緊急発表」が出たら
災害級の大雪のおそれがあります!
いのちを守る行動をとってください!



雪みち情報-ライブカメラ-X(国フイッター)
外出前にチェック!
全国の雪みち情報「おしえて」アプリ
どうしても出かける
用事があるときは、
車内にもしもの備えを!

ノーマルタイヤでの
積雪・凍結道路走行は 法令違反!
反則金 大型 7千円 普通 6千円 二輪 6千円 原付 5千円
※道路状況により通行止めや規制が行われる場合があります。
※大雪警報が発令された場合は、道路状況が悪化する可能性があります。
※大雪警報が発令された場合は、道路状況が悪化する可能性があります。

12月には大規模な車両滞留が発生しています



冬用タイヤの使用限度
「フラットホーム」をチェック!
冬用タイヤの溝が新品時から50%減ると
使用限度を示す「フラットホーム」が露出に達します。
このようにタイヤは摩耗が進み、凍結時の制動が
低下するので冬用タイヤとしては使用を控えめ。

ノーマルタイヤでの
積雪・凍結道路走行は
法令違反!
冬用チェーンの装着・早めの交換。
さらに大型車は常にチェーンを装着しよう!



反則金
大型 7千円 普通 6千円 二輪 6千円 原付 5千円

シーズン中も
月に1度は
タイヤ交換を
しましょう



11月は
冬用タイヤ装着
運動月間
です

冬用タイヤに交換しよう!

国土交通省 公団社団法人 雪センター JATMA 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

11月27日(木) 陸運業の安全衛生管理実務担当者研修

- 会場** 京ト協
- 出席者** 20社22名
- 概要** 安全衛生管理担当の方を対象に、講師として安全管理士の谷口誠氏をお招きし職場の安全衛生水準の向上を目指し安全衛生管理に関する知識、手法に関する研修会をしました。



11月28日(金) トラック運送事業者のための人材確保・労働環境改善セミナー

- 会場** 京ト協
- 出席者** 7社10名
- 概要** 最新の業界動向や法制度の変化を踏まえた人材確保、労働環境改善につながる内容の講演をしていただきました。

11月29日(土) 丹後支部 健康診断

- 会場** 舞鶴21
- 出席者** 298名受診

11月29日(土) 丹後支部 安全運転講習会 (奥丹地区)

- 会場** アグリセンター大宮
- 出席者** 105名
- 概要** 大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター特任教授の守山敏樹氏より、「ドライバーの健康管理のポイント～健康起因事故を防止するために～」をご講演いただきました。

11・12月のおもな活動

支部・部会等の各種行事を開催!!

11月19日(木) 特定技能外国人ドライバー人材受け入れに関する説明会

- 会場** 京ト協
- 出席者** 17社23名
- 概要** 講師に、公益財団法人国際人材協力機構(JITCO) 大阪駐在事務所長 尾崎哲一氏をお招きし、特定技能制度(自動車運送業)での受入れについて説明いただきました。
また、登録支援機関6団体によるプレゼンテーション及び、終了後には個別での相談会も実施しました。



11月20日(木) 路線部会情報交換会

- 会場** よし菜
- 出席者** 12社12名
- 概要** 一社ずつ近況報告を行いました。



12月 5日(金) 大型車の事故防止対策及び特殊車両通行制度に関するセミナー

- 会場** 京ト協
- 出席者** 16社16名
- 概要** ①事故防止のための国土交通省の施策について
②特殊車両通行確認制度について



12月 6日(土) 京青協 役員会・定例会 / 忘年会 / 2次会

- 会場** 肉もん 竹屋町店
- 出席者** 22社22名
- 概要** 1月～2月事業についてご審議いただきました。

12月 10日(水) 中央支部 役員会

- 会場** 祇園 北斎
- 出席者** 8社8名
- 概要** 新年会、令和8年度事業についてご審議いただきました。

12月 10日(水) 南支部 役員会

- 会場** 祇園 蕪屋
- 出席者** 11社11名
- 概要** 令和8年度事業についてご審議いただきました。

11月 30日(日) 南支部 ボウリング大会

- 会場** ラウンドワン京都伏見
- 出席者** 14社63名
- 概要** 1人3ゲームの合計得点で競技を行いました。

12月 2日(火) 車輪脱落事故防止セミナー・プラン2025目標達成セミナー

- 会場** 京ト協
- 出席者** 37社39名
- 概要** ①車輪脱落事故を防ぐための点検整備、タイヤ交換について
②事故を減少させるためのアイデアのグループディスカッション



12月 2日(火) 近畿トラック青年協議会 (K T S) 正副会長会議

- 会場** 紀州・白浜温泉 むさし
- 出席者** 14社14名
- 概要** 3月7日開催の配車担当者研修会等についてご審議いただきました。

適正化事業情報

1 令和7年11月 巡回指導報告

巡回指導件数等

件 数			
新規事業者：1	一般事業者：49	特別巡回：0	合計50件

巡回指導におけるワースト項目

順位	指導事項	指導 件数	(否) 件数	(否) 率%
1	特定運転者（初任／高齢／事故惹起者）への特別指導	35	13	37.1%
2	特定運転者（初任／高齢／事故惹起者）の適性診断受診	36	12	33.3%
3	事業及び実績報告書の提出（本社巡回限定）	45	13	28.9%
4	運行管理者の講習受講	50	6	12.0%
4	乗務員への輸送の安全確保に必要な指導監督	50	6	12.0%
6	健康診断の実施・記録・保存	49	5	10.2%
7	36協定の締結・届出	44	4	9.1%
8	労災保険・雇用保険の未加入	46	3	6.5%
9	運転者台帳の適正記入・保存	50	3	6.0%
9	日常点検基準の作成・適正な点検の実施	50	3	6.0%

お問合せ 適正化事業部 TEL 075-671-3175

トラック関連法令Q&A

[Q] 下記記述は、労働者として業務上必要な関係法令(労働基準法関係)について述べたものです。
正しいものに○印、誤っているものに×印を記して下さい。

記述		解答欄
1	平均賃金とは、これを算定すべき事由の発生した日以前3ヵ月間にその労働者に対し支払われた賃金の総額を、その期間の総日数で除した金額をいう。	
2	法で定める労働条件の基準は最低のものであるから、労働関係の当事者は、当事者間の合意がある場合を除き、この基準を理由として労働条件を低下させてはならないことはもとより、その向上を図るように努めなければならない。	
3	労働者が、退職の場合において、使用期間、業務の種類、その事業における地位、賃金又は退職の事由(退職の事由が解雇の場合にあっては、その理由を含む。)について証明書を請求した場合においては、使用者は、遅滞なくこれを交付しなければならない。	

※解答は24ページにあります

健康サポートコーナー

【家庭内感染に要注意】家の中こそ油断禁物！



健康保険協会 京都支部
協会けんぽ

この時期は、寒さと乾燥で体調を崩しやすくなる季節です。家の中といって油断していると、家族全員が体調を崩す恐れがあります。新年のいいスタートを切れるように家庭内での予防策を見直してみましょう。



Point. I

家庭内で感染者が出た場合、適切な気温（18℃以上28℃以下）、湿度（40%以上70%以下）に保った別々の部屋で過ごし、接触を避けるようにしましょう。

Point.2

ドアノブ、リモコン、食器、ゴミなども接触感染の原因となりやすいのでこまめに消毒をして、室内の換気を定期的に行いましょう。

Point.3

空気中や接触した場所にウイルスが残っています。
バスルーム、トイレ等の共有スペースを使う場合は、感染者は最後に利用するようにしましょう。

Point 4

感染者は、部屋の中でも不織布マスクを着用することで、ウイルスの飛散を減らすことができ、また他の家族もマスクをすることで感染リスクを軽減することができます。

Action!

- 体調不良は、早めに家族に伝えましょう。
- 家族に感染者が出たら、お世話はできるだけ一人が担当し、感染者を増やさないようにしましょう。

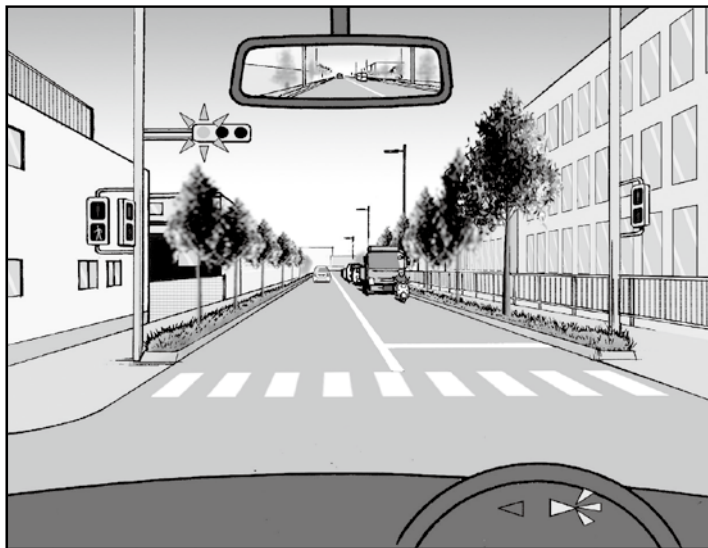
～貴事業所のドライバー教育にご活用下さい～



KIKEN YOCHI TEST

あなたはどのような運転をしますか？

- ① イラストを見て、この運転場面にひそむ危険要因を挙げてください。
- ② この場面での安全な運転方法について考えてください。



状況説明

交差点の右折待ち中に、対向車線を二輪車が走行してきました。

自車はそのまま交差点を右折したいのですが……。

どのような危険要因があるか

どのような運転をすればよいか

(「月刊自動車管理」より転載)

危険予知ポイント



危険予知
ポイント

- ①直進してきた二輪車と衝突する。
- ②右折先を横断する歩行者を見落として衝突する。

無理に右折せず二輪車を先に行かせる

前方から二輪車が接近しています。二輪車はスピードや距離感を正確に判断することが難しいことから、安易に右折を始めると、直進してきた二輪車と衝突する危険があります。

右折待ち中对向車線を走行してくる二輪車を見かけたときは、無理に右折せず二輪車を先に行かせましょう。

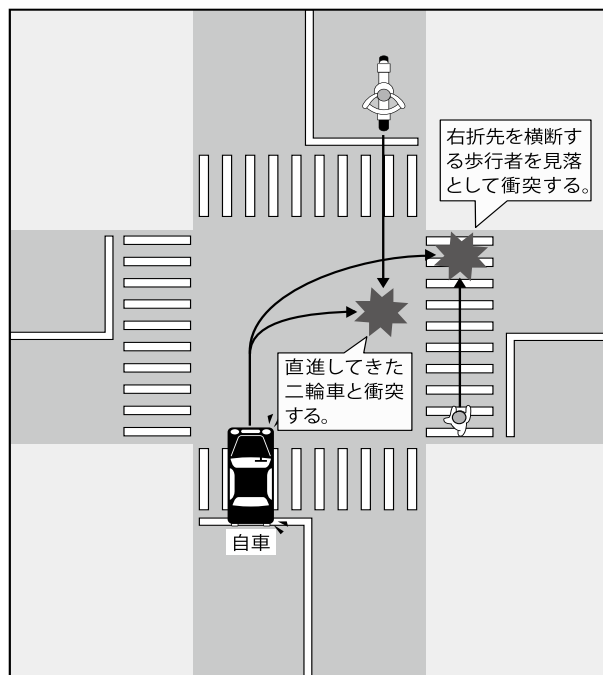
右折先の横断歩道を横断する歩行者に注意

安全確認をせず、慌てて右折すると、右折先の横断歩道を横断する歩行者を見落として衝突する危険があります。

右折時は、対向車線はもちろん右折先の安全もしっかり確認してから右折を開始しましょう。



二輪車はスピードや距離感が把握しにくいのでとくに注意する



© 企業開発センター

EVENT CALENDAR

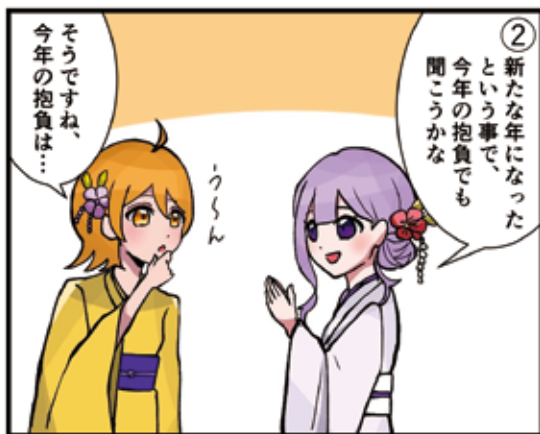
令和8年1月

21日(水)	南支部 新年会〔左阿彌〕
22日(木)	出張適性診断（初任・適齢）〔舞鶴21〕 城南支部 新年会〔ザ・サウザンド京都〕
23日(金)	福知山輸送協議会 新年会〔焼肉レストラン 三樹〕
24日(土)	【満員】 口丹波輸送協議会 新年会〔松正（亀岡市篠）〕 安全運転研修会＜一般＞〔山城自動車教習所〕 運行管理者試験対策講習会〔京都自動車会館〕 朱雀支部 中間報告・新年会〔満留安〕
24日(土) 25日(日)	朱雀支部 健康診断〔京都工場保健会〕
26日(月)	整備管理者選任前研修会〔京都自動車会館〕
27日(火)	運賃交渉等相談会〔京ト協〕
28日(水) 30日(金)	運行管理者基礎講習〔京ト協〕
31日(土)	中央支部 新年会〔からすま京都ホテル〕 朱雀支部 健康診断〔京都工場保健会〕

令和8年2月

3日(火)	京青協 幹事会・定例会〔京ト協〕
6日(金)	女性部会 役員会・新年会〔味浪漫 いしがま亭〕 全ト協青年部会 九州ブロック大会〔ガーデンテラス佐賀ホテル&リゾート〕
7日(土)	安全運転研修会＜一般＞〔山城自動車教習所〕 洛南支部 安全運転講習会〔京都自動車会館〕
7日(土) 8日(日)	朱雀支部 健康診断〔京都工場保健会〕 朱雀支部輸送協議会 親睦旅行〔ことひら温泉〕
9日(月)	運行管理者試験対策講習会〔京都自動車会館〕
13日(金)	BCP対策セミナー(商工会議所共催)〔京ト協〕 全ト協青年部会 全国大会〔京王プラザ〕
14日(土)	朱雀支部 健康診断〔京都工場保健会〕
18日(水)	近畿トラック青年協議会（K T S）正副会長会議〔京都府〕
20日(金)	第37回 京都府貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会〔京ト協〕

※行事の受付状況につきましては、京ト協事務局へお問合せ下さい。



三章七話 おわり



総合学園ヒューマンアカデミー京都校

スペーストラッカー2

三章七話 一年の始まり

原作:黒くらげ

作画:もえるんば



京都府トラック協会 LINE・X (旧Twitter) 公式アカウントのご紹介

京都府トラック協会では、今までのLINE公式アカウントに加え、X(旧Twitter)のアカウントを開設いたしました。講習会、交通情報などの情報を発信しております。ぜひご登録いただき、事業運営にお役立ていただければ幸いです。

LINE 公式アカウント

(一社) 京都府トラック協会
@306swllb



X (旧Twitter) 公式アカウント

(一社) 京都府トラック協会
@Kyotruck_assoc




京都府トラック協会はSDGsに取り組んでいます。



一般社団法人

京都府トラック協会

〒612-8418 京都市伏見区竹田向代町48-3

TEL.075-671-3175 FAX.075-661-0062

<https://www.kyotruck.or.jp> Email:info1@kyotruck.or.jp